

『『そうだ 京都、行こう。』presents みどりの京都アートギャラリー特別イベント』イベントレポート

京都・嵯峨野の新緑に“色”を添える 辻井ミカ氏、小松美羽氏 ライブパフォーマンス



株式会社東海旅客鉄道株式会社（以下 JR 東海）が展開する観光キャンペーン「そうだ 京都、行こう。」では、“苔と新緑”をテーマとしたキャンペーンを2019年5月25日（土）より展開しております。

本キャンペーンに際し、2019年6月27日（木）に、『『そうだ 京都、行こう。』presents みどりの京都アートギャラリー特別イベント』を実施いたしました。午前の部には、嵯峨御流 華務長の辻井ミカ氏をお招きし、祇王寺にてライブいけばなのパフォーマンスを、午後の部には現代アーティストの小松美羽氏をお招きし、常寂光寺でライブペイントを行っていただきました。

イベント概要

イベント名称：「『そうだ 京都、行こう。』presents みどりの京都アートギャラリー特別イベント

【午前の部】

日時：2019年6月27日（木）10:30~11:30

場所：祇王寺（京都市右京区嵯峨鳥居本小坂町 32）

ゲスト：嵯峨御流 華務長 辻井ミカ氏

内容：辻井氏による祇王寺の「苔」「青もみじ」をモチーフにした、ライブいけばなパフォーマンス

【午後の部】

日時：2019年6月27日（木）15:00~16:00

場所：常寂光寺（京都市右京区嵯峨小倉山小倉町 3）

ゲスト：小松美羽氏

内容：小松氏による常寂光寺の「苔」「青もみじ」をモチーフにした、ライブペイントパフォーマンス

午前の部

苔というは楓で、嵯峨野を表現

辻井ミカ氏 ライブいけばなイベント @ 祇王寺

午前部は、小雨の降る祇王寺の苔庭にて実施されました。祇王寺の伊勢ご住職によると、「今日のような湿気の多い天候の時が、苔が一番美しく見える」とのこと。

司会から開始が告げられると、祇王寺にも多くある「いろは楓」のほか4種類もの苔を手に取りながら、作品を作り上げていきます。途中、苔の一種である「タマゴケ」の説明は、「まん丸の目玉のような形をしており、今の時期に胞子が出る」と、ご紹介。静けさの中にも和やかな雰囲気漂っていました。パフォーマンス後半は季節の花を生ける辻井氏。中でも嵯峨野に実在したお寺からその名が付けられたという花「仙扇（せんおう）」は、今回の作品のこだわりのポイントとおっしゃっていました。辻井氏の所作や凛とした空気感を息をのんで見つめ、辻井氏から完成が告げられると、ギャラリーからは大きな拍手が沸き起こりました。

今回の作品タイトルは「祇王寺の青い苔のある風景」。辻井氏は作品の見どころについて聞かれると、「祇王寺に色々な種類の苔があるのを再現すべく、同じ苔であらゆる緑を表現しました。」とコメント。また、本作品を「祇王寺の縮図」とし、「嵯峨野に来た方が、『この風景を守っていききたい』『花を身近に感じ、見守っていききたい』と感じてもらいたい」と感想を述べられていました。

※辻井ミカ氏の作品はギャラリー祇王寺にて6月28日（金）～7月中旬まで展示予定。また多方面で活躍するアーティストのアート作品は6月28日（金）～8月25日（日）まで展示しています。



午後の部

全身を使った圧巻のパフォーマンスを披露

小松美羽氏 ライブペイントイベント @常寂光寺

午後の部は、祇王寺と同じく苔や青もみじが人気の常寂光寺にて行われました。会場は南北朝時代のものだという仁王門前。新緑がとてもよく映える場所ということもあり、青もみじをバックにイベントが行われることとなりました。

キャンパスである金屏風の前に真っ白な袴姿で現れた小松氏。開始前、深々と頭を下げると、ためらうことなく色を入れていきます。自身の手を使い全身を動かしながら描いたと思えば、指の腹で細く繊細な線も描いていくなど、緩急のあるパフォーマンスを繰り広げ、その様子をギャラリーは固唾を飲んで見守りました。また、絵の完成とともに白い袴も極彩色に染まってきました。最後に筆を使ってゆっくり色を入れると作品は完成。屏風に向かって深々と頭を下げると、歓声が沸き起こっていました。

苔と新緑をテーマに描いた作品のタイトルは「宝雨の中で一對の艶緑の楓は苔の地平線にて門となる」。今回の感想について小松氏は、「1 か月ほど前に常寂光寺を訪れたとき、緑の絨毯である苔の下に、もう一つの世界があるのが見えた。常寂光寺に広がる苔を境界線に見立て、上を我々が住む世界、下を地中にある世界として描きました。」とコメントしました。また、土砂降りの中でのパフォーマンスになってしまいましたが、「実は雨が降ってほしかったんです。雨は恵。昆虫や生物が喜ぶ声が聞こえます。雨の中でパフォーマンス出来たのは良い経験でした。」と、嬉しそうにお話されていました。

※小松美羽氏 作品は6月28日（金）～8月25日（日）まで常寂光寺 展示場にて展示しています。また多方面で活躍するアーティストのアート作品も同期間にて展示しています。

※小松美羽氏 作品は養生中の為、ショーケースに収容するまでの期間は常寂光寺 展示場外からの観覧となります。





■ゲストプロフィール



辻井ミカ (つじい みか) いけばな嵯峨御流 華務長／華道家

祖父・父の跡を継ぎ昭和 43 年より嵯峨御流に入門し、平成 8 年教授となり本格的に華道家としての活動を開始。平成 26 年 4 月 1 日より華道総司所華務長に就任。

現在 嵯峨美術大学評議員、日本いけばな芸術協会理事、大阪府花道家協会常任理事、いけばな女流選抜作家展運営委員、大正大学客員教授を務める。



小松美羽 (こまつ みわ) 現代アーティスト

1984 年 11 月 29 日生まれ。

「美しすぎる銅版画家」として世間の注目を集める、日本の風土が生み出すものにこだわり、信州を拠点に世界にメッセージを発信する新進気鋭のアーティスト。

有田焼で制作した狛犬「天地の守護獣」が大英博物館所蔵となり日本館に永久展示されたり、ニューヨーク Nippon Club にてライブペイントを実施した際の作品が平和の象徴として「4 ワールドトレードセンター」に所蔵されるなど、活躍の場を世界に広げている。

■ 苔と新緑の京都 キャンペーン ご紹介



「みどりの京都 アートギャラリー」

アーティストによる“みどりの京都”を 6 月 28 日から公開！

辻井ミカ氏、小松美羽氏に加え、多方面で活躍するアーティストに、「祇王寺」と「常寂光寺」の“苔”・“青もみじ”をモチーフにした作品を描いていただきました。色鉛筆からちぎり絵まで、さまざまな「みどりの世界」をお楽しみください。

期間：6 月 28 日（金）～ 8 月 25 日（日）

会場：常寂光寺 展示場 / 祇王寺 ギャラリー 祇王寺

時間：常寂光寺：10:00 ～ 16:00 / 祇王寺 10:00 ～ 16:00

※会期中、予告なく開催を休止する場合がございます。

※作品養生中の為、常寂光寺 展示場外からの観覧となります。



「#京都でみつけたみどり色」

Instagram 投稿キャンペーンを実施中！

応募期間：2019 年 6 月 7 日（金）～ 8 月 31 日（土）

「そうだ 京都、行こう。」公式 Instagram にて、「#京都でみつけたみどり色」と題し、色あそび企画を実施中です。京都でみつけたお気に入りのみどりの写真を、あなたオリジナルのみどりの名前を付けて投稿してみてください。オリジナリティの高い作品にはプレゼントを進呈いたします。皆さまの投稿、お待ちしております。

■会場

【祇王寺（ぎおうじ）】

紅葉の名所として知られる竹林と楓に囲まれた草庵。
平家物語にも登場し、悲恋の尼寺としても知られている。



【常寂光寺（じょうじやっこうじ）】

紅葉の美しい小倉山の中腹にあり、
常寂光土に遊ぶような風情があるこの名がつけられた。

